

「ユネスコ研修プログラム」について

資料1-2



背景・目的

- ◆2022～2029年の8か年のユネスコ中期戦略において、「ユース」が優先グループとして位置付け。
- ◆令和4年秋から、日本ユネスコ国内委員会において、**ウクライナやアフガニスタン情勢、気候変動に伴う自然災害の深刻化、グローバル・サウスの台頭**等を踏まえ、「国際情勢を踏まえたユネスコ活動等の推進」等について継続的に議論。
- ◆ユネスコ活動の活性化の一環として、**日本の若者のユネスコ事務局（地域事務所を含む）での研修を推進**するべく、ユネスコとの間で研修プログラムの創設に関する覚書に署名し、日本の若者がユネスコ事務局での勤務を経験することにより、**ユネスコ活動に対する理解促進**、国際機関職員をはじめとした**グローバルに活躍できる人材の育成**、**ユネスコ活動を活用した地域活性化**等に貢献することを目指す。

令和5年
11月

文部科学省及びユネスコとの間で、ユネスコ活動を行っている団体等（大学、地方自治体等）に所属する学生・若手職員をユネスコに派遣する**研修プログラムの創設に関する覚書**に署名。

学生の派遣（令和6年度）

- ①対象：ユニツイン／ユネスコチェアに認定されている大学からの推薦に基づく、大学院生
- ③派遣規模：年間最大14名程度（12大学、14か所から各1名）
- ②派遣期間：原則6か月以上（最長12か月）
- ④派遣先：ユネスコ本部、ユネスコ地域事務所
- ⑤経費支援：公益財団法人日本国際教育支援協会の協力の下、奨学金を支援可能

【第1期】4名 … 研修中3名（教育局、人文・社会科学局、ニューデリー事務所）

準備中1名（自然科学局）

【第2期】4名 … 準備中4名（自然科学局、教育局、コミュニケーション・情報局、アルマトイ事務所）

ユニツイン／ユネスコチェア登録大学

①立命館大学	C
②岡山大学	C
③神戸大学	C
④京都大学	T/C
⑤島根大学	C
⑥長岡技術科学大学	T/C
⑦大阪大学	C
⑧九州大学	C
⑨横浜国立大学	C
⑩広島大学	T
⑪金沢大学	C
⑫上智大学	C

※T:ユニツイン C:ユネスコチェア